

社会教育委員等研修会報告

主催 新潟県社会教育委員連絡協議会

期日 6月22日(金) 10:30~15:30

会場 長岡市中央公民館

新潟市社会教育委員 田中 宏和

1 研修Ⅰ 講義 10:30~12:00

テーマ 「社会教育委員の役割と全国大会招致の意義」

講師 坂本 登(前全国社会教育委員連合常務理事)

(1) 都道府県社会教育委員組織の設立

昭和31年9月6日北海道で設立、新潟県は昭和38年11月18日に

昭和38年6月1日任意団体 全国社会教育委員連絡協議会として全国組織を設立

昭和58年社団法人「全国社会教育委員連合」認可

平成23年9月一般社団法人「全国社会教育委員連合」認可

(2) 全国大会招致の意義(2020年10月?長岡市)

全国の社会教育委員の相互の連携・ネットワーク化

全国的な事例や情報の収集と交流

社会教育委員の認知度向上(見える化)

成否のカギは行政とのコラボ

(3) 社会教育委員制度の意義と特徴

「社会教育委員の制度は、民間人で社会教育に優れた意見を有する人々の卓見良識を社会教育の施策の上に実現せしめようとするもの」寺中作雄

住民ニーズの反映装置(住民主体)

地方自治体の主体性重視(地方分権)

一人一人が機関(独任制)

社会教育の振興(諸計画の立案)

社会教育の原理(自発性、自主性、個人学習、相互学習、生活即応、地域相応、効率性)

東日本大震災の教訓から社会教育振興の手懸かり

① 地縁から知縁へ(学び合いを通じて)

② 社会教育スタート(家庭教育学級、PTA活動)

③ 生涯学習の応用問題(社会教育職員、社会教育委員)

2 研修Ⅱ 事例発表とワークショップ(13:00~15:25)

事例発表 テーマ「出雲崎町の社会教育について」発表者 磯部 友記(出雲崎町社会教育委員長)

社会教育委員会議を年2回公民館運営審議会委員、図書館協議会委員合同会として事業実施計画(案)、事業実施状況、事業実施報告を議題として審議している。(社会教育委員数は4人)

社会教育事業として、昭和62年から毎年町並み保存活動の一環として夏休みに東京芸大生を招待して街並みスケッチ画合宿を行っている。昨年で30回を迎えスケッチ画集第3版を作成。

ワークショップ(4人グループで話し合い意見を出す、3回テーブルを移動し意見を広める)

テーマ「どんな全国大会を新潟から発信できるのか」

こんな大会にしたい、スローガンについて、講演会の中身や講師、どんな分科会にするか、アトラクションは何がいいかなど自由に意見を出し合った。